

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定)・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒が課題を発見し、探究して課題を解決する力を養えるような教育課程を編成する。</p> <p>②学ぶ意欲や探究心を高めるための授業改善に取り組む。</p>	<p>①基礎学力の定着に主眼を置き、社会で生き抜くための人間力を高める。新学習指導要領に基づく新しい教育課程の運用・改定を行う。</p> <p>②生徒の多様なニーズに合致した、実践力を高めることができるような授業の実現、および、学習の質の向上や個別最適化を目指し、外部資源やICT等の利活用に積極的に取り組む。</p>	<p>①学校内の意見を整理し、学校外からも情報収集することにより、様々なニーズに対応し、学校目標にも合致した適切な教育課程の運用・改訂案を提案する。</p> <p>②生徒による授業評価のコメントをヒントに、検討会等を実施することで、生徒同士がお互いを支え合う授業作の工夫や、学習内容の定着率を高める工夫を共有し、生徒が自発的に学習に取り組む授業を目指す。また、外部との連携を積極的に行うことにより教員一人ひとりの授業力向上を目指す。</p>	<p>①積極的に情報収集を行い、様々なニーズや学校目標に適切に対応した教育課程改善案を提示し、軌道修正をすることができたか。</p> <p>②生徒の授業評価の8項目に対する回答が、3.2を維持することができたか。生徒たちから寄せられる自由記述欄のコメントを参考にして、自らの授業を振り返り改善につなげることができたか。また、外部との連携により得られた知識・情報等を通じて、授業力を向上させることができたか。</p>					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣の確立と支援教育体制の充実を図る。</p> <p>②生徒の主体的な活動を支援し、豊かな人間性やコミュニケーション能力を育成する。</p>	<p>①「基本的な生活習慣の確立」「規範意識の醸成」「モラル・マナーの向上」の3本柱を中心に、教職員全体の生徒指導力向上を目指し、生活指導全般の改善・立て直しを図る。</p> <p>②行事や部活動を高校生活の柱の一つと捉え、主体的・意欲的な参加を促す。</p>	<p>①通常指導・特別指導のあらゆる場面において、学校内における指導上の重点ポイントを見直し、教育相談や支援教育も重視しつつ、全教職員が同じスタンスで生活指導に臨むことができるような体制を整える。</p> <p>②新入生歓迎会や部活動登録期間を通じて積極的に部活動勧誘を行う。また、生徒自らがコロナ禍後の社会変化に対応した学校行事を企画・立案、実施する。</p>	<p>①欠席・遅刻・早退の数を減少させることにより、評価未履修となる科目数を前年比50%以下に抑えることができたか。ルールの明確化・共有化を問題行動の未然防止につなげることができたか。</p> <p>②コロナ禍後の社会変化に対応した行事の企画・立案、実施ができたか、また部活動加入率が向上したか。行事ごとのアン</p>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
					ケートで良かったと回答した生徒が7割を超えたか。					
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、多様な進路希望の実現を支援する。</p> <p>②キャリア教育を充実させ、より良く生きる能力を育成する。</p>	<p>①キャリア支援を充実させ進路希望実現に向け、自己の適性を確認させる。面接指導等個々の指導を充実させる。</p> <p>②インクルーシブ教育推進校として幅広い実習先や体験先の開拓を行い、活動の充実を図る。キャリア科目において、生徒の自己理解と進路に対する前向きな姿勢を育成する。</p>	<p>①外部講師を招き進路ガイダンスを開催する。学級担任と連携を密に、生徒個々に情報提供を行なう。きめ細かな面接指導を行う。</p> <p>②インターンシップを推進するとともに、受入れ先の事業所を開拓する。体験的・対話的な指導で生徒の自己理解と進路に対する前向きな姿勢の育成を図る。また、その取り組みの過程や成果を保護者へ情報提供する。</p>	<p>①事後アンケートでの8割以上前向きな感想や面接指導を受けた生徒が8割以上あったか。</p> <p>②インターンシップの参加率が前年度より増加したか。また、幅広い事業所の開拓ができたか。</p> <p>指導を通し、生徒の自己理解と進路に対する前向きな姿勢が発現したか。面談やガイダンスを通し、生徒・保護者に情報提供できたか。</p>					
4	地域等との協働	<p>○地域との連携・協働の充実を図り、信頼される学校づくりを推進する。</p>	<p>○コロナ禍後の社会変化に配慮しながら、可能なイベントに生徒の参加を促す。</p>	<p>○コロナ禍後の社会変化に配慮しつつ、参加者の安全に留意したイベントについて、部活動や同好会、委員会に案内し、参加を促す。</p>	<p>○イベント等に参加した生徒に対するアンケートを行い、肯定的な回答が7割を超えたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①事故不祥事防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力を一層向上させる。</p> <p>②防災教育と安全安心な学校づくりを推進する。</p>	<p>①職員の主体的な不祥事防止の取組を組織的に推進し、信頼と期待に応える学校づくりを進める。</p> <p>②防災教育と環境美化の推進に継続して取り組む。</p>	<p>①不祥事防止について職員1人1人が主体的に事故防止に取り組む体制をつくる。また、職員研修会を月1回以上実施し、知識や意識が向上させた上で組織的な学校運営をすすめる。</p> <p>②防災避難訓練やDIGを通して防災意識を高める。環境美化委員会を中心に日頃の環境美化や行事毎のゴミ回収等を徹底する。</p>	<p>①不祥事防止研修会を毎月実施し、事故を防止することができたか。また、職員の討議を進め学校運営に生かすことができたか。</p> <p>②防災活動の振り返りを行い、防災意識の向上についての回答が7割を超えたか。ゴミの分別回収や減量に取り組めたか。</p>					